

## 防災クイズ解答・解説

問1 授業中に大きい地震が起こったら、揺れている間は机の下にもぐる。

答	○
---	---

解説：落下物から身を守るため、一旦、机の下にもぐりましょう。その後、揺れが収まったら落ち着いて校舎から避難しましょう。

問2 寝ているときに地震が起きたときは、フトンに潜り込む。

答	○
---	---

解説：家が安全な場合は、揺れで目覚めたら寝具にもぐりこむか、ベッドの下に入れる場合はベッドの下に入り、落下物から身の安全を確保しましょう。

問3 災害が起きたとき家の外へ逃げるときは、はだしで飛び出さずに靴をはく。

答	○
---	---

解説：運動靴などの脱げにくくて、動きやすい履物をはいて逃げましょう。

はだしで逃げるとガレキで足の裏を怪我したりする危険があります。

また、洪水時には長靴で歩くことも水に流されやすくなるので危険です。

問4 火事で部屋に煙がたくさん入ってきたときは、姿勢を低くして逃げる。

答	○
---	---

解説：煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くします。ぬれタオルやハンカチで口をふさいで、煙を吸い込まないようにしましょう。たき火などの煙と違って有毒ガスを多く含むため、吸い込むと危険です。

問5 火事がおこったら、まずは火を消す。

答	×
---	---

解説：火事が発生したらまずは大声で「火事だ」と叫び周りの人に知らせましょう。一人での消火活動を考えず、みんなで協力することが大切です。

問6 服に火がついたときは走り回って消す。

答	×
---	---

解説：服に火がついたときは、あわてて走り回ってはいけません。火が小さい時は、もみ消すか水をかけるようにし、火が大きければ、地面を転がって砂で消すか、水をかけるか、または、消火器で消火するようにしましょう。

問7 消火器で火を消すことができるのは、部屋全体に炎が燃えうつったときだ。

答	×
---	---

解説：初期消火の目安としては天井に火がまわるまでの間であれば消火器などが有効です。しかし、天井に火が燃え移ったら速やかに逃げて下さい。逃げるときは、空気が入って燃えやすくなってしまうため、特にマンションではドアを閉めて下さい。逃げたあとも大声で「火事だ」と叫び周りの人に知らせましょう。一人での消火活動を考えずみんなで協力することが大切です。

問 8 消火器の粉が出る時間は、60 秒ぐらいだ。

解説：住宅用消火器の放射時間は、長いもので 20 秒程度です。使用する際は、燃えているものに的確に放射することが大事です。放射時間や放射距離は、本体に必ず表示してありますので確認しておくとい良いでしょう。

答	×
---	---

問 9 台風や大雨が降っているときには、川の状態を確認する。

解説：家を出てから戻るまでに災害に巻き込まれる危険があるので、外に出ないようにしましょう。テレビや防災無線などで情報収集をしましょう。

答	×
---	---

問 10 おぼれている人は、自分が泳いで行って助ける。

解説：泳いで行って助けると、おぼれている人につかまれて、自分もおぼれるかもしれないので、助けを呼びましょう。または、川に入らずに浮き輪など投げて助けましょう。

答	×
---	---

問 11 地震や大雨のとき、正しい情報を知るためには、テレビやラジオなどを聞く。

解説：ラジオ、テレビ、防災行政無線などからの正しい情報を把握して、落ち着いて避難しましょう。携帯電話などは災害時にはつながりにくい場合があります。

答	○
---	---

問 12 避難生活では、大きなゴミ袋が、役に立つ。

解説：大きなゴミ袋は雨具、水をためておく容器などに使えます。日頃から持ち出し品の中に入れておくと便利です。

答	○
---	---

問 13 地震や火事で建物から外に出るときは、エレベーターを使って逃げる。

解説：階段を使用して避難しましょう。エレベーターは故障して動かなくなることもあるため閉じ込められる危険があります。大きな建物の中では、非常口や避難経路を確認する習慣をつけましょう。火災が起きたときは、非常放送や係員の指示を聞いて落ち着いて行動しましょう。

答	×
---	---

問 14 消火器の使い方は、まずノズルを火に向ける。

解説：消火器の使い方は、最初に黄色の安全ピンを引き抜きます。次にホースを外し、ホースの先端を持って火元に向けます。そしてレバーを強く握って放射します。消火器が重いときは、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。力のない女性などは、消火器を置いて体重をかけるようにするとよいでしょう。

答	×
---	---

問 15 住宅用消火器の使用期限は3～5年である。

答	○
---	---

解説：一般的な住宅用消火器では、使用期限について製造後3～5年が目安となっているものが多いです。消火器の種類により使用期限に違いがありますので、本体に表示してある使用期限を確認しておきましょう。

問 16 気象情報でいう「非常にはげしい雨」が降っているとき、傘は役に立つ。

答	×
---	---

解説：天気予報用語では30mm～50mmが「激しい雨」です。激しい雨とはバケツをひっくり返したように降ります。傘を差してもぬれます。

問 17 玄関のドアは浸水が40センチくらいになると開かなくなる。

答	○
---	---

解説：玄関のドアは40～50センチメートルになるとあかなくなってしまうます。浸水がすすむ前に、安全な場所へ逃げましょう。

問 18 大雨が続き、家の近くの崖から山鳴りや変な臭いがするときは、避難場所へ逃げる。

答	○
---	---

解説：がけ崩れや土石流の危険があります。すぐに安全な場所に、移動しましょう。

問 19 出血している人の処置をするとき、ビニール袋をもっていると役に立つ。

答	○
---	---

解説：直接、血をさわるのは感染症の危険性があるので、ゴム手袋をします。なければ、ビニール袋などを使い手当てしましょう。

問 20 倒れている人に最初にすることは声をかけて返事があるか確認することだ。

答	○
---	---

解説：まずは、声をかけて意識の有無の確認をして、次に気道の確保、それから呼吸の確認の順で行いましょう。また、意識がない場合は横向けにしないと、嘔吐物がつまる恐れがあるので、気をつけましょう。